

ESG をめぐる法実務の最新動向と 企業・金融機関におけるリスク管理手法

～ESG（環境・社会・ガバナンス）の企業価値に対するインパクト～

たかはしだいすけ
講師 **高橋大祐** 氏 真和総合法律事務所 パートナー 弁護士

日時 平成30年1月15日(月) 午後2時00分～午後5時00分

近年、一連の企業不祥事を通じて、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関するリスクの企業価値に対するインパクトが、より一層認識されている。海外に目を向けると、国連ビジネスと人権指導原則、パリ協定、持続可能な開発目標（SDGs）をはじめとする ESG に関するグローバルなルール形成が進みつつあり、サプライチェーン・インベストメントチェーンを通じた ESG 取組みが、欧米各国で法的義務、ないしはそれに準じる義務にまで引き上げられつつある。

このような中、日本国内でも ESG 投資や CSR 調達が拡大しており、ガバナンスコード・ステュワードシップコード・東京五輪調達コードなどのルールも導入されている。その結果、企業では ESG に関するリスク管理やその取組状況の開示が重要になるとともに、金融機関・機関投資家においても ESG に配慮した投融資が強く期待されている。

本セミナーでは、上記のような ESG に関する法規制・法実務の最新動向を解説すると共に、企業の ESG リスクの対処・開示方法や機関投資家・金融機関による ESG リスクを考慮した投融資の方法について、その実践手法や法的論点を具体的に議論する。

第1 ESG とは何か

－ ESG と CSR の異同、ESG の各要素の関係性、ESG と企業価値・企業不祥事との関係性を中心に

第2 ESG をめぐるグローバルな法規制・法実務の最新動向

- 1 ESG に関するグローバルなルール形成：SDGs、ビジネスと人権国連指導原則、国連責任投資原則、赤道原則等
- 2 ESG に関する欧米の規制動向と実務影響：紛争鉱物規制、英国現代奴隷法、米国貿易促進化貿易執行法、EU 非財務情報開示指令、フランス人権デューデリジェンス法等

第3 ESG をめぐる日本国内の法実務の最新動向

－コーポレートガバナンスコード、改訂版ステュワードシップコード、価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス、東京五輪「持続可能性に配慮した調達コード」を中心に

第4 企業における ESG 関連リスクの管理・開示の実践手法

- 1 ESG 関連リスクの管理における実践手法：インパクトアセスメント、リスクベースアプローチ、サプライチェーン管理、内部統制システム整備などにおける留意点
- 2 ESG 関連リスクの開示における実践手法：開示の内容・項目・媒体などに関する留意点
- 3 企業不祥事発生時の対応方法

第5 機関投資家・金融機関における ESG 関連リスク管理の実践手法

- 1 機関投資家における ESG 投資のエンゲージメントにおける留意点－企業不祥事発生時に対応も含め
- 2 金融機関における ESG に配慮した融資における留意点

【講師紹介】 弁護士（日本）／法学修士（米・仏・独・伊）。日本証券アナリスト協会検定会員（CMA）。企業・金融機関に対し、グローバルコンプライアンス・ESG・危機管理に関する案件に対応するほか、社内規程整備・社内研修などの内部統制システム整備の支援も担当。日弁連の弁護士業務改革委員会 CSR と内部統制プロジェクトチーム副座長として、日弁連人権 DD ガイダンスや CSR 条項モデル条項の策定にも関わる。国際法曹協会 CSR 委員会オフィサー、早稲田大学日米研究所招聘研究員、JETRO アジア経済研究所研究会委員、上智大学法学部非常勤講師なども務める。【関連論文】「ESG 関連リスクの管理・開示のあり方－CG コード第 2 章への対応を視野に－」（旬刊商事法務 No.2146・2147）、「会社法務で求められるサステナビリティ戦略－オリンピック調達・ESG 投資を巡る実務動向を踏まえて」（会社法務 A2Z 2017 年 5 月号）、「ESG（環境・社会・ガバナンス）法務序論」（QUICK ESG 研究所ウェブサイト 2016 年 12 月）、「サプライチェーン・インベストメントチェーンにおける CSR 条項の活用」（自由と正義 2015 年 12 月号）、「グローバル時代の CSR 法務戦略」（証券アナリストジャーナル 2014 年 8 月号）、「サプライチェーンにおける CSR 法務戦略」（NBL1001・1002・1003 号、共著）ほか多数。

※ 録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 経営調査研究会
■後援 金融財務研究会
http://www.kinyu.co.jp

Facebook : <http://www.facebook.com/keichoken>
Twitter : <https://twitter.com/#!/keichoken>
Blog : <http://keichoken.blogspot.com/>



開催日

平成30年1月15日(月)
14:00~17:00

会場

茅場町・グリーンヒルビル
金融財務研究会本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8
TEL 03-5651-2030
地下鉄東西線・日比谷線 茅場町駅
6番出口より徒歩1分
(開場は開演の30分前です。)

参加費

1名につき34,200円
(消費税、参考資料を含む)

1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名につき29,000円。追加申込みの場合はその旨ご記入下さい。

申込先

経営調査研究会 ホームページ <http://www.kinyu.co.jp/>
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリーンヒルビル
TEL 03-5651-2033 FAX 03-5695-8005

申込方法

ファックス又は郵便にて参加申込書をお送り下さい。上記ホームページの申込欄からもお申しいただけます。折り返し、受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)参加費の払戻しは致しませんので申し込まれた方がご都合の悪い時は代理の方がご出席下さい。又当日ご参加になれなかった場合、当社および金融財務研究会主催の他のセミナーに無料でご出席いただけます。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内にお問い合わせいたします。)ご記入いただきました個人情報、当社および関係会社の受講者名簿の整備や今後開催されるセミナーのご案内等に使用します。

振込口座

普通預金 口座名 (株)経営調査研究会

三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 0602180 三井住友銀行 東京中央支店 3207281
みずほ銀行 京橋支店 1813877 三菱UFJ信託銀行 日本橋支店 1979947

----- 切らずにこのままお送り下さい -----

ESGをめぐる法実務の最新動向と
企業・金融機関におけるリスク管理手法
1/15

◆参加申込書◆

FAX 03-5695-8005

平成 年 月 日

ご連絡・講師へのご質問等ご記入下さい *セミナーコード 0077 (Law-300077)	会社名	TEL FAX		
	所在地	E-Mail 〒		
	参加者ご氏名	部課名		
	〃	〃		
	〃	〃		
	〃	〃		
	書類送付先 (同上の場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX	

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。